

大宝建設株が安全大会を開催

『私たちの現場から事故を起こさない、私たちの会社から事故を出さない』

柴田社長



60名が参集

大会には健康管理教育として、新上五島町健康保険課健康増進班から保健師の檜山志穂美さん、江口博子さんが招かれたほか、安全講演には、長崎県労働基準監督署五島駐在事務所の中幸彦所長、長崎県五島振興局上



▲柴田社長の冒頭あいさつ

新上五島町の大宝建設株(柴田久直代表取締役)は2日、新上五島町福祉センターにおいて2階会議室を会場に「平成28年度労働安全衛生大会」を開催した。当日は「自分の体は自分で守る」という安全の基本をあらためて認識し、一人ひとりが安全な作業を心がける」と、この日集まった60名全員が災害事故を絶対に起こさないよう、より一層努力することを誓い合った。

五島支所から浦川剛志検査指導幹の両名が足を運んだ。同社の戸村敬一工事課長の開会挨拶から始まった大会では、柴田社長があいさつに立ち、「まずは社員一同を代表して、各講師の皆様へ感謝を申し上げます。また、弊社の工事施工に日頃から協力いただいている浜田組、江口組の両社にも感謝したい」と会場に語りかけた。続いて「私たちを取り巻く環

境は徐々に明るくなってきた。国において改正された品確法、入契法、建設業法の運用指針が具体的に進捗し、なかでも特に重要なのは、建設業の適正な利益の確保が発注者の責務であると明示されたこと。また、改正品確法ほか3法は担い手3法ともいわれ、我々建設業界に、若き担い手が入職しやすい環境づくりを推進することが取り組まれている」と現状を語った。

その上で「当社も本



▲健康管理教育

年度は中五島、上五島高校に求人募集し、若き技術者に入社してほしいと考えている。また、要望があれば昨年に行った高校生のインターンシップ体験も受け入れる予定だ」と積極的に若手の採用に取り組む意志を示し



▲田中所長

た。さいごに「今大会を契機に、私たちの現場から事故を起こさない、私たちの会社から事故を出さない」と全員が意志疎通して一丸となって取り組もう」と締めくくった。



▲浦川検査指導幹

この後、健康管理教育、安全教育DVD研修と続き、安全講演に立った田中所長は、主

業の災害を紐解き、災害のメカニズムを図解。ヒューマンエラーの発生防止に徹することを強調。また、「一口高所作業」における労働安全衛生規則が改正されることについても言及。浦川検査指導幹は、工事事故の事例から、事故形態別発生件数や業種別(道路が1位)、年齢別(高齢者が多い)等を分析し、熱中症予防の徹底や、元請・下請の安全に対する意識向上、若手作業員および運転手の安全教育の向上等、注意を促した上で「会社ぐるみで安全意識の向上が必須」と強調した。

柴田社長による社内優秀工事表彰(4現場)柴田憲英取締役副社長



▲表彰式の様子

柴田社長による安全衛生作業所長表彰(13名)ならびに、永年勤続者表彰として工事部の竹中陽司さん(勤続25年)が、それぞれ表彰状を手渡された。会場からの榮譽を称える拍手に身を浴した。

会の終盤では、工事部の近藤誠氏が労働災害の発生防止に伴う約束事を宣言し、同社独自の安全10訓を竹中陽司工事課長が読み上げ閉会した。

- 安全十訓
- 1. いつも元気で、ほがらかに
- 2. 正しい姿勢で、腰を
- 3. 正しい姿勢で、腰を
- 4. 正しい姿勢で、腰を
- 5. 正しい姿勢で、腰を
- 6. 正しい姿勢で、腰を
- 7. 正しい姿勢で、腰を
- 8. 正しい姿勢で、腰を
- 9. 正しい姿勢で、腰を
- 10. 正しい姿勢で、腰を

長崎建設新聞 2016年(平成28年)6月10日掲載